



2024年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月8日

上場会社名 クロスプラス株式会社
コード番号 3320 URL <https://www.crossplus.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
四半期報告書提出予定日 2023年9月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東名

(氏名) 山本 大寛
(氏名) 白木 規博
TEL 052-532-2211
配当支払開始予定日 2023年10月23日

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第2四半期の連結業績(2023年2月1日～2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第2四半期	27,547	5.4	1,041	152.8	1,144	101.0	1,254	48.1
2023年1月期第2四半期	26,131	8.9	411	89.3	569	51.8	847	271.7

(注) 包括利益 2024年1月期第2四半期 2,239百万円 (169.9%) 2023年1月期第2四半期 829百万円 (359.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第2四半期	170.85	169.30
2023年1月期第2四半期	115.55	114.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第2四半期	26,971	14,683	54.3
2023年1月期	26,097	12,464	47.6

(参考) 自己資本 2024年1月期第2四半期 14,644百万円 2023年1月期 12,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期		6.00		6.00	12.00
2024年1月期		12.00			
2024年1月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年2月1日～2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	3.4	1,200	554.0	1,400	238.7	1,300	185.4	177.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年1月期2Q	7,718,800 株	2023年1月期	7,718,800 株
期末自己株式数	2024年1月期2Q	347,151 株	2023年1月期	385,651 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年1月期2Q	7,343,102 株	2023年1月期2Q	7,333,199 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年2月1日～2023年7月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されるなど、行動制限の緩和が進み、社会経済活動が正常化に向かうことにより緩やかな回復基調となりました。

当アパレル業界では、外出需要や消費マインドが上向いたほか、インバウンド需要も回復するなど市場環境は改善の動きが見られました。しかしながら、エネルギーや原材料価格の高騰、円安による物価上昇などの影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期経営計画に基づき、アパレル事業の深化と非アパレル事業の創出に取り組んでまいりました。アパレル事業においては、商品のNB化による取り扱い店舗の拡大やEC専用ブランドの強化を進めました。非アパレル事業では、ヘルスケアを中心としたライフスタイル商品の新規開発や販路拡大に努めてまいりました。

売上高は、外出機会の拡大に伴い、アパレル小売では、店舗、ECともに好調で前期より大きく伸長したほか、アパレル卸売では、郊外型専門店や大手GMS向けなどが好調に推移し、全ての販売チャネルで増収となりました。

利益面では、アパレル卸売において、価格転嫁の実施、NB商品の強化による商品力の向上や、早期提案によるアセアンでの計画生産比率を高めたことによる仕入原価の低減により、売上総利益率が大きく改善し、売上総利益は78億10百万円（前年同期比15.6%増）となりました。経費面では、物流費が減少したものの、アパレル小売の売上増加に伴う変動費の販売促進費やブランドロイヤリティ、営業活動の活発化に伴う出張経費の増加により、販売費及び一般管理費は67億69百万円（前年同期比6.7%増）となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益と、昨年のシステム障害に対する受取保険金を計上しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は275億47百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は10億41百万円（前年同期比152.8%増）、経常利益は11億44百万円（前年同期比101.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億54百万円（前年同期比48.1%増）となり、上期としては、営業利益、純利益で、上場来最高益となりました。

なお、当社グループは、衣料品事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

事業部門別の売上高は、以下のとおりです。

区 分	金額（百万円）	前年同期比（%）
アパレル卸売	22,123	+2.9
アパレル小売	5,170	+16.7
そ の 他	253	+20.4
合 計	27,547	+5.4

販売チャネル別の売上高は、以下のとおりです。

区 分	金額（百万円）	前年同期比（%）
専 門 店	13,349	+2.4
量 販 店	9,141	+7.0
無 店 舗	2,388	+5.5
百 貨 店 他	1,126	+9.5
E C	1,169	+24.3
そ の 他	372	+15.3
合 計	27,547	+5.4

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は269億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億74百万円の増加となりました。

流動資産は181億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億88百万円の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が11億53百万円減少したものの、現金及び預金が22億66百万円増加したこと等によります。

固定資産は87億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億13百万円の減少となりました。固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産が71百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は122億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億45百万円の減少となりました。

流動負債は75億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億91百万円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は、短期借入金が10億円減少し、電子記録債務が7億91百万円減少したこと等によります。

固定負債は47億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億45百万円の増加となりました。固定負債の増加の主な要因は、長期借入金が7億47百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は146億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億19百万円の増加となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金が11億87百万円増加し、繰延ヘッジ損益が9億4百万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ22億66百万円増加し、61億62百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、18億50百万円の収入(前年同期は12億1百万円の収入)となりました。これは、仕入債務の減少が13億73百万円(前年同期は5億4百万円の減少)となったものの、税金等調整前四半期純利益が16億55百万円(前年同期は8億60百万円)、売上債権の減少が9億50百万円(前年同期は16億39百万円の減少)となったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億69百万円の収入(前年同期は3億60百万円の収入)となりました。これは、投資有価証券の売却による収入が5億2百万円(前年同期は3億85百万円の収入)となったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、62百万円の支出(前年同期は5億44百万円の支出)となりました。これは、長期借入れによる収入が15億円となったものの、短期借入金の減少が10億円、長期借入金の返済による支出が5億17百万円(前年同期は4億77百万円の支出)となったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月期通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2023年3月17日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は2023年7月19日に公表いたしました「2024年1月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正、配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,925	6,192
受取手形及び売掛金	8,399	7,245
電子記録債権	1,658	1,863
商品	2,369	1,885
貯蔵品	27	28
その他	860	1,002
貸倒引当金	△49	△37
流動資産合計	17,191	18,180
固定資産		
有形固定資産	3,828	3,756
無形固定資産	238	207
投資その他の資産		
投資有価証券	4,403	4,406
その他	434	421
投資その他の資産合計	4,838	4,827
固定資産合計	8,905	8,791
繰延資産		
開業費	0	-
繰延資産合計	0	-
資産合計	26,097	26,971
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,470	2,889
電子記録債務	2,642	1,851
短期借入金	1,000	-
1年内返済予定の長期借入金	830	1,064
未払法人税等	32	296
賞与引当金	79	85
その他	2,036	1,314
流動負債合計	10,092	7,501
固定負債		
長期借入金	2,376	3,124
退職給付に係る負債	847	788
その他	317	873
固定負債合計	3,540	4,786
負債合計	13,633	12,287

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	7,988	9,176
自己株式	△511	△460
株主資本合計	11,429	12,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,544	1,605
繰延ヘッジ損益	△641	262
為替換算調整勘定	69	91
退職給付に係る調整累計額	20	17
その他の包括利益累計額合計	992	1,976
新株予約権	43	39
純資産合計	12,464	14,683
負債純資産合計	26,097	26,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
売上高	26,131	27,547
売上原価	19,377	19,737
売上総利益	6,754	7,810
販売費及び一般管理費	6,342	6,769
営業利益	411	1,041
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	66	57
受取家賃	79	75
その他	49	14
営業外収益合計	196	148
営業外費用		
支払利息	11	11
為替差損	-	12
賃貸収入原価	21	20
その他	6	0
営業外費用合計	38	45
経常利益	569	1,144
特別利益		
固定資産売却益	90	-
投資有価証券売却益	217	403
受取保険金	-	108
特別利益合計	307	511
特別損失		
システム障害対応費用	16	-
特別損失合計	16	-
税金等調整前四半期純利益	860	1,655
法人税、住民税及び事業税	11	259
法人税等調整額	1	142
法人税等合計	13	401
四半期純利益	847	1,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	847	1,254

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	847	1,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	61
繰延ヘッジ損益	7	904
為替換算調整勘定	39	22
退職給付に係る調整額	△8	△2
その他の包括利益合計	△17	984
四半期包括利益	829	2,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	829	2,239
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	860	1,655
減価償却費	118	113
のれん償却額	4	5
受取利息及び受取配当金	△66	△58
支払利息	11	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	△217	△403
受取保険金	-	△108
システム障害対応費用	16	-
売上債権の増減額 (△は増加)	1,639	950
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△567	482
仕入債務の増減額 (△は減少)	△504	△1,373
その他	△427	430
小計	867	1,706
利息及び配当金の受取額	66	58
利息の支払額	△11	△12
保険金の受取額	-	108
システム障害対応費用の支払額	△16	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	268	△10
その他	26	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,201	1,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68	△4
有形固定資産の売却による収入	202	-
投資有価証券の取得による支出	△118	△16
投資有価証券の売却による収入	385	502
その他	△40	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	360	469
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△1,000
長期借入れによる収入	-	1,500
長期借入金の返済による支出	△477	△517
配当金の支払額	△66	△44
その他	△0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△544	△62
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,058	2,266
現金及び現金同等物の期首残高	3,496	3,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,555	6,162

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。